

平成二十九年度第三十回夕暮祭短歌大会入賞歌

秦野市長賞

丹沢の山ふところを飛びいでて大磯めざす若き青鳩

神奈川県秦野市

田中 恵美子

秦野市教育委員会教育長賞

自らの卒業証書を漉くという頬紅き子は漉き桁ゆらす

山口県周南市

熊本 芳郎

秦野短歌会会長賞

ふと気づく手のささくれと切り傷を湯けむりに翳す一日のおわり

長崎県諫早市

山本 博幸

村岡嘉子選者賞

春を連れ富山に来たる螢鳥賊 漁夫はすなだる春の夜光を

東京都町田市

永田 吉文

山田吉郎選者賞

白備えの甲冑付けて銀杏の実落葉の下に冬を越したり

山梨県山梨市

佐藤 由子

佳作

始業式終へたる児らの弾む声北半球を燕尾風きる

神奈川県伊勢原市

門 久仁子

入線を知らせるZARDの「負けないで」よしと構えて治療に向かう

神奈川県秦野市

柳川 維

桜待つ寺の巖にすみれ咲き母のやさしく幼子を呼ぶ

滋賀県湖南市

俵山 友里

作業所のクツキーほろりと舌先で崩せばやさしい二月は光

兵庫県西脇市

大江 美典

震災後六年を経たるいまだにも復興を見ずふるさとふくしま

神奈川県秦野市

杉山 頼子

初夢に録画ボタンがあつたなら夢の欠片を繋がずとも済む

東京都武蔵野市

本田 しおん

スマホと向き合う人の満ち満ちて話の咲かない電車が走る

オーストラリア

高山 昭子

蒼穹の光りが峰を狙い撃ち二ノ塔辺り綿雲二つ

神奈川県秦野市

宮田 新

くるたびに柱の前に孫立たせ妻は背丈をななめにはかる

神奈川県平塚市

星野 一英

さくら坂こぎ登る子のはく息を汽笛と風が追いかけてゆく

東京都小金井市

中村 哲

爺には絶対負けじとかるた取る覚えたばかりの字に飛びつきて

神奈川県厚木市

丸山 浅子

古民家の春いろフェスタにブロンドのポニーテールがきびきび動く

神奈川県伊勢原市

山田 ゆたか

君の話がパン生地みたいに膨らむまでぼくは待つてるおーい雲よ

山口県周南市

森元 輝彦

病む父の今日の笑顔を見たいから病室の前笑顔を作る

岡山県岡山市

信安 淳子

相模野の空ひろびろとその果に春雪まとひ阿夫利嶺は聳つ

神奈川県厚木市

関野 喜代子

塔ノ岳の枯草むらに風おりて山のくぼみに山桜咲く

山梨県甲州市

秋野 正彰

「おかえり」と笑う秦野のばあちゃんの厚い手のひら両手で握る

神奈川県小田原市

井上 靖

蘇我さんと飛鳥川辺でじゃんけんをして飛び石を渡しし夕べ

奈良県橿原市

松井 純代

夕暮れの施設の窓に浮かびくる父の眼窩は翳を濃くせり

神奈川県秦野市

福島 健太郎

受話器よりこぼるる高き笑い声卒寿の長姉の「元氣」着信

神奈川県秦野市

内田 禧子